

電波時計（電子音目覚まし時計）取扱説明書

取扱説明書番号 E229-CXXZ

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 暗くなると秒針が12時位置に停止します
- 文字板面照明付
- 温度と湿度を表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y0904)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 この表示は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～+50℃	電池交換時期	明るいところでも秒針が12時位置に停止
時間精度	表示精度 標準電波受信直後 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20 秒（常温中のクォーツ精度）	お知らせ機能	暗くなると秒針を12時位置に停止
アラーム精度	表示時刻に対して0秒	明暗センサー	操作を電子音で知らせる
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個	確認音	電池を入れたとき / アラームスイッチを ONにしたとき / 強制受信ボタンを押して受信を開始したとき
電池寿命	約1年 受信に成功し、1日7時間秒針停止 1日にアラームを30秒鳴らし、4秒間照明を使用	標準電波	受信局自動選択 福島局 40kHz/九州局 60kHz 電波受信機能 ON/OFF 切替 自動受信 最少 1日1回 最多 1日6回 受信状態により、受信回数に変化します。 受信開始時刻 2時16分20秒 3時16分20秒 4時16分20秒 12時16分20秒 13時16分20秒 14時16分20秒
アラーム機能	電子音（鳴り方が変化） アラーム音：電子音 鳴り方が変化 スヌーズ機能（止めてもまた鳴る） オートストップ機能（自動鳴り止め）	受信結果の確認	スヌーズボタンを押して「ビビ」と受信確認音が鳴れば受信成功。 ※暗いところでは受信確認音が鳴りません。
照明機能	光源 ランプ 残照機能 ライトボタンを離してから約4秒間	付属品	
温度表示	バイメタル式温度センサ 測定範囲：表示目盛範囲 精度：±3℃（-20～+50℃）	単3形アルカリ乾電池 2個	
湿度表示	バイメリアル式湿度センサ 測定範囲：表示目盛範囲 精度：±12% 20～90%の湿度範囲 （測定時の温度は5～35℃）	取扱説明書 本書	保証書 1枚

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額なる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。
お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005
（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

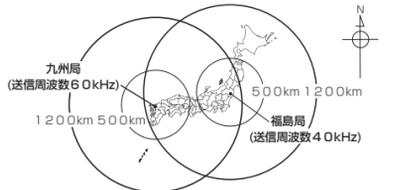
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおかたかや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（<http://jjy.nict.go.jp>）

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に変換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓧ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

-  **注意**
- 電池に傷をつけたり、分解しない。
 - 電池を充電しない。
 - 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
 - 電池をショートさせない。
 - 時計を使用しないときは電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

 **警告** 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 **注意** もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

 **注意** 火に入れると破裂の原因となり危険です。

温度・湿度表示について

ほこりや水分が付くと正確な表示をしなくなることがありますので、蒸気に直接当たるところに置いたり、本体裏面のスリットに息を吹きかけたりしないでください。

設置してから、1～2時間後に正しい目盛を示します。

設置場所について

- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- つぎのような場所では使用しないでください。
温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中

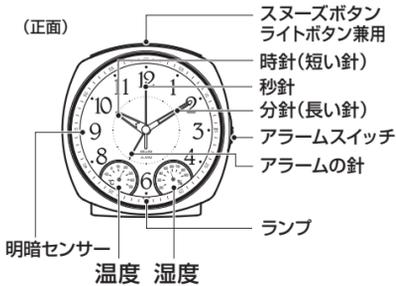
湿度は設置場所により変わります

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでできます。

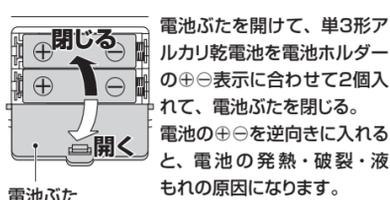
Ⓧ本製品は室内用です。室内の温度・湿度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

1 電池を入れて時刻を合わせる

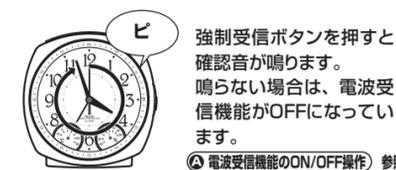
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



〈電池の入れ方〉①

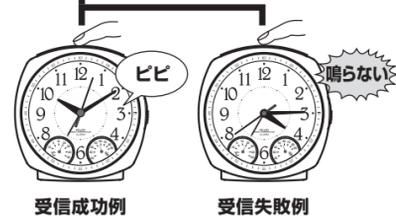


【受信の流れと受信結果の確認】



4、8、12 時のいずれかの時刻に移動します。移動後、針が停止して受信を開始します。

最長 15分後に受信終了→針が動き出す
スヌーズボタンを押して受信結果を確認します。



受信確認音は25時間以内に、受信に成功しているときに鳴ります。

電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所になるべく時計の正面または裏面が向くように置き、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。
- 時刻を合わせて使用する
屋外たとえばベランダなどで標準電波を受信させるか、手動で時刻を合わせてください。通常のクォーツ時計としてご使用になれます。

手動での時刻の合わせ方

- 時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
- 標準電波を受信できない場合の時間精度はクォーツ精度になります。
 - 受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。
- 時刻合わせボタンを押すと、時・分針の修正モードになります。
- 時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押し続けると早送りします。秒針は12時位置になると停止し、時針と分針は動き続けます。
- ⑤ボタン操作をしていないのに針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。
- 秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離れた時点でゼロ秒から秒を刻み始めます。このとき秒針が12時位置に止まっていない場合は、秒針は早送りして現在時刻に移動します。

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせしてお使いください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- 時計が止まっているときは、すべての電池を新しいものに交換するか、電池を取り出す。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

2 アラーム機能の使い方

1. 目覚まし時刻の合わせ方

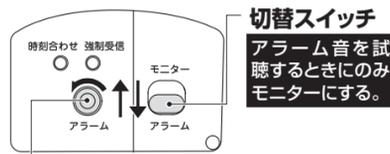
- アラームつまみを必ず矢印の方向に回し、アラームの針を目覚まし時刻に合わせてください。
- 目覚まし時刻は10分単位で設定できます。
 - アラームつまみを逆に回すと、アラーム精度が悪くなる場合があります。
 - 文字板のデザインにより、目覚まし時刻の目盛がないタイプもあります。

2. アラームスイッチの設定

- アラームスイッチをONにすると、合わせた時刻にアラームが鳴ります。アラームを止めるとき、または鳴らさないときにはOFFにします。
- ※アラームスイッチをONにすると、確認音が鳴ります。

3. アラーム音の試聴

- ①切替スイッチを「モニター」側にします。
- ②アラームスイッチをONにするとアラームが鳴ります。OFFにすると止まります。
- ③試聴後は必ず切替スイッチを「アラーム」にしてください。

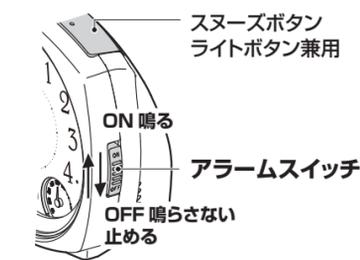


アラームつまみ

必ず矢印方向に回す



(例:目覚まし時刻を6時20分にセット)



スヌーズボタンについて

スヌーズボタンには3つの機能があります。

- ①スヌーズ機能 (アラーム音を一時的に止める)
アラームが鳴っているときに押し、約5分間アラーム音が停止します。この機能は、アラーム設定時刻から20~50分間繰り返し使えます。アラーム音を完全に止めるにはアラームスイッチをOFFにします。
- ②文字板面照明機能
スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。押ししている間と離してから約4秒間文字板面を照明します。
- ③受信に成功しているときは受信確認音を鳴らす
25時間以内に電波の受信に成功しているときには、スヌーズボタンを押すと受信確認音が鳴ります。受信確認音は暗いところでは鳴りません。

アラームオートストップ機能……自動鳴り止め機能

鳴っているアラームを放置すると、約5分間鳴り続けて自動的に止まります。アラームスイッチはONのままです。

アラームご使用上の注意

- アラームスイッチをONにしたままでは、毎日午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。
- アラームの音量は調節できません。

トラブル? アラームが鳴らない

- アラームつまみを回して、現在時刻に合わせてがアラームが鳴らない。
- 時刻合わせボタンを操作してアラーム時刻に合わせてがアラームが鳴らない。

このようなときは、アラームスイッチを一度OFFにしてからONにするとアラームが鳴り出します。アラームつまみや時刻合わせボタンを操作してアラーム音を試聴するときには、アラームスイッチをOFFにしてから操作し、その後にアラームスイッチをONにするとアラームが鳴り出します。

電波受信機能のON/OFF操作

- 受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)**
強制受信ボタンを連続して4回押してください。強制受信ボタンを押すタイミングは、確認音が鳴り始めたらすぐに押してください。受信機能がOFFになると、強制受信ボタンを押しても確認音が鳴りません。▶時刻は手動で合わせてください。
- 受信機能 ON (有効にして受信を開始する)**
先に時刻合わせボタンを押し続けながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、その後時刻合わせボタンを離します。確認音が鳴り、ランプが点滅します。この後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

アドバイス

- 受信機能をOFFにするときは、確認音が鳴り始めたらすぐに強制受信ボタンを押す操作を確認音が鳴らなくなるまで繰り返してください。
- 工場出荷時の受信機能設定は、ONになっています。
 - この説明の中で「押す」は「押しすぐ離す」ことを意味しています。
 - 操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
 - 受信機能がOFFのときに電池を取り出しても設定を長い時間保持します。受信機能をONにするには、上記の説明に従って操作してください。
 - 受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと早送りでおおよそ12時間分動き、その後、通常の時刻表示になります。

明暗センサーのはたらき …… 暗くなると12時位置に秒針停止

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針が12時位置に停止します。また、受信に成功していても、受信確認音は鳴らなくなります。昼間や夜間室内灯が点灯した環境でも、明るさが不足するとセンサーが反応します。

電池の交換時期お知らせ機能 …… 12時位置に秒針停止

十分に明るいところで、秒針が12時位置に停止しているときは、電池の交換時期です。指定の電池に速やかに交換してください。そのまま放置した場合、電池からの液もれが発生し、故障や家具などを汚す原因になります。

- 交換時期のお知らせを開始してから1ヵ月程度は動き続けます。
- 電池の交換時期になるとライトボタンを押しても照明が点灯しません。

(注) 強制受信ボタンを押して、受信しているときを除きます。